

高良 正樹氏



予想している。県が出している健康おきなわ21のデータでも全国と比較して男女ともに肥満が各年代に多いのが変わっていない。26シヨック以後、「メタボ」に対して啓もう活動が盛んだが、大きく減っている状況ではない。女性の肥満が変わっていない状況では、平均寿命にも影響してゐるのだ。

％を超えている。男性は年を取るとともに増えている。女性もメタボの診断基準を満たす人は男性に比べて少なく、40代では数％程度だが、閉経を迎えた50代からは急激に増えてきており、県内も同じような増え方の傾向がある。

メタボが引き起こす病気は、肥満から起こるい

肥満の解消が病気の予防に

る。

県内のメタボ率はどうか。――

肥満が男性が85％以上、女性わゆる生活習慣病（高血圧、高脂血症、糖尿病）が改善され、

1階にはクリニックを併設しており、健診結果に応じて再検査や治療に対応している。国内の死亡率の第1位はがんであり、がんの早期発見の観点から当センターも豊崎クリニックと提携しPET検査を組み合わせたコースも用意している。生活習慣病予防に加えて、がんの早期発見も達成していくことが当センターの役割だ。

「メタボリックシンドローム」（メタボ）への意識が高まっているが、県民の平均寿命、肥満の状況などはどうなっているか。

沖繩男性の「26シヨック」が言われているが、最近一番新しいデータでは2005年に男性が25位という結果が出ている。女性は辛うじて1位をキープしているが、今後女性も落ちていくのではないかと

2008年からメタボ対策に重点を置いた特定健診が始まっているが、受診率は28％程度と低い状況だ。生活習慣病は最初には症状が出ない病気なので、健診を利用して自分の体の状況を把握していただく。

4月に豊見城市豊崎に新築移転した。男女別の検査フロアを設けた。女性フロアでは医師を含め女性スタッフが対応している。検査結果説明フロアを4階に設け、景色を眺めながらリラックスした雰囲気の中で待っていただいている。

2000年に平均寿命の順位が4位から26位に急落した

9年では男性だと40代が15％、50代が25％、県内だと30

の3つのうち2つがそろっているとメタボだが、この3つの異常は、一つ一つが動脈硬化を進行させてしまうもので、それぞれが重なることで

健診・人間ドックのススメ

きたい。病気の早期発見には健診が大切だ。自分の体を第一に考えてほしい。

健康管理センターの特長について伺いたい。